

事業活動収支計算書

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

(単位 円)

		科目	金額
教育活動収支	収入の活動	学生生徒等納付金	104,950,000
		付随事業収入	20,900
		雑収入	974,430
		教育活動収入計	105,945,330
	支出の活動	人件費	54,404,662
		教育研究経費	14,467,489
		管理経費	30,642,477
		教育活動支出計	99,514,628
		教育活動収支差額	6,430,702
教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	885
		教育活動外収入計	34,863,292
	支出の活動	借入金等利息	247,600
		教育活動外支出計	34,821,841
			教育活動外収支差額
		経常収支差額	6,225,438

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	94,656,811	流動負債	60,325,937
現金預金	92,320,841	買掛金	1,988,174
売掛金	2,083,940	未払金	7,555,794
仮払金	12,030	預り金	619,969
未収入金	240,000	前受金	49,545,000
固定資産	139,016,809	法人税等充当金	617,000
建物	80,403,264	固定負債	31,616,000
建物附属設備	750,001	長期借入金	31,616,000
構築物	418,448	純資産	142,031,683
車両運搬具	2	出資金	20,000,000
工具器具備品	808,434	利益準備金	15,325,410
土地	56,084,660	特別積立金	13,845,410
電話加入権	90,000	教育情報繰越金	9,223,245
外部出資その他の資産		当期末処分剰余金	83,637,618
出資金	60,000		
敷金	402,000		
資産合計	233,673,620	負債及び純資産合計	233,973,620

損益計算書

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
事業費	34,821,841	事業収入	34,439,064
共同購入事業費	28,784,797	共同購入事業費	30,547,856
協同組合事業費	6,037,044	委託料収入	3,891,208
一般管理費	103,865,174	賦課金収入	325,000
人件費	54,763,380	一般賦課金	325,000
教育研究(管理)経費	18,803,761	学校収入	105,946,215
施設関係	11,911,635	学生等納付金収入	103,550,000
設備関係	18,386,398	手数料収入	1,420,900
事業外費用	247,600	受取利息・配当金収入	885
支払利息	247,600	雑収入	974,430
税等	617,000	事業外収入	99,228
法人税等	617,000		
当期利益剰余金	1,257,892		
合計	140,809,507	合計	140,809,507

平成30年度決算報告書

財産目録

平成31年3月31日現在

摘 要	金 額 (単位:円)
(資産の部)	
I 流動資産	94,656,811
現金預金	92,320,841
売掛金	2,083,940
仮払金	12,030
未収入金	240,000
II 固定資産	139,016,809
建物	80,403,264
建物付属設備	750,001
構築物	418,448
工具器具備品	808,434
車両運搬具	2
土地	56,084,660
電話加入金	90,000
外部出資金	
商工組合中央金庫熊本支店	10,000
熊本県中小企業団体中央会	50,000
敷金	402,000
資産合計	233,673,620

摘 要	金 額 (単位:円)
(負債の部)	
I 流動負債	60,325,937
未払金	2,728,524
未払費用	4,827,270
買掛金	1,988,174
預り金	619,969
法人税等充当金	617,000
前受金	49,545,000
II 固定負債	31,316,000
長期借入金	31,316,000
負債合計	91,641,937
差引正味財産	142,031,683

事業報告書

自 平成30年 4月 1日から
至 平成31年 3月 31日まで

I 事業活動の概況に関する事項

1 事業年度における主要な事業内容・当該事業年度における事業の経過及びその成果

(1) 組合及び組合員をめぐる経済・経営状況

美容業界は、東京・福岡からの低料金システムのチェーン店進出や一人面貸店舗等が増加して競争がますます激化しております。その結果、価格破壊が今までに経験した事がない程に起きております。

又、美容業界にも一般企業並みの福利厚生・残業代等の働き方改革が業界全体の共通課題となっており、売上単価・生産性を向上させなければ人件費が経営を逼迫してしまう状況である。これからは今まで以上に組合の連帯感を高め美容技術の共同研究、経営の勉強会等を強化してまいります。

(2) 共同事業の実施状況

① 共同購買事業

美容材料等の共同購入の予算額は35,000千円でしたが、購入高は年間で30,547,856円となりました。組合員全員が「自分たちの組合である」との自覚を基に共同購入事業の更なる拡充を図ります。

② 美容師養成事業

平成15年度から、熊本市本山4丁目1番46号に開設いたしました美容師養成施設「モア・ヘアメイクカレッジ」に平成30年度4月の第16期生は63名が入学しております。平成31年3月に第15期生40名が卒業いたしました。

来期からは第17期生59名が入学します。美容師養成施設「専修学校モア・ヘアメイクカレッジ」は学校教育と実社会での実務実習が体験できる新しいスタイルの教育システムになっておりますので、教育内容の充実を図り、質の高い美容師を養成してまいります。

2 直前3事業年度の財産及び損益の状況

項目	前期	前前期	前前前期
資産合計	235,700,221	210,916,065	212,624,719
純資産合計	141,435,473	140,686,428	143,854,534
事業収益合計	146,241,920	156,589,252	162,696,799
当期純利益金額	1,822,898	885,228	3,875,550

監査報告書

中小企業等協同組合法第40条第5項により、組合から受領した第18期財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案を監査した。

なお、当組合の監事は、定款第28条（監事の職務）に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告書を監査する権限を有していない。

1 監査方法の概要

決算関係書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取その他通常取るべき必要な方法を用いて調査した。

2 監査結果の意見

- (1) 財産目録、貸借対照表、損益計算書は、組合の財産及び損益の状況のすべての重要な点において適正に表示している。
- (2) 剰余金処分案は法令及び定款に適合している。

令和1年 5月14日

エム・オービー・ヘアメイク協同組合

監事 吉住優子

